

## 阪神南県民センター地域創生アクション・プラン

県民をはじめ、企業、各種団体、市、県民センターなど、様々な主体が互いに連携しながら自ら主体的に行動することで、「安心して暮らせる阪神南地域の実現」を目指す。

### ア) 安心して結婚・出産・子育てできる環境をつくる

多くの若者が阪神南地域に転入する一方で、乳幼児や学童期の児童とその親の世代の転出が顕著であることから、地域や企業と一体となった子育て支援などにより、若者が定着し、安心して結婚・出産・子育てできる環境をつくる。

#### 【総括 KPI】

- ・ 0～14 歳及び 30～39 歳の転出超過人数：H32：420 人半減 [H26：846 人]  
(H29:1,139 人)

#### 【主な事業】

##### (1) 若者・女性の雇用・就業支援

###### ○ 若者ものづくり人材確保支援事業 (2,100 千円)

高校生・大学生を対象に、ものづくりの面白さに触れる機会を提供

- ・ 就業体験バスツアーの実施

◇対象者：高校生・大学生(20～40 人×16 回)

◇内 容：管内企業(高校生 1 社、大学生 2 社)の製造現場を見学

- ・ ものづくり出張セミナーの開催

◇対象者：高校生(50～150 人×5 回)

◇内 容：熟練技術者による出張講話

- ・ 産業用ロボットセミナーの開催

◇対象者：高校生(25 人)

◇内 容：ロボットの作業デモンストレーション見学及び講義、高校生による新用途のアイデア発表(計 2 日間)

◇場 所：ロボットテクニカルセンター(西宮市内) 他

(上段：目標、下段：実績)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
バスツアー、セミナー 参加者数		800 人/年	1,300 人/年	1,300 人/年	1,300 人/年	1,300 人/年
	725 人 (H26 年度)	1,257 人/年	952 人/年	848 人/年		

##### (2) 出会いの機会づくり

###### ○ 出会いサポートセンター運営

少子化の要因である晩婚化・未婚化への対策として、出会い・結婚を応援するための事業を展開

- ・ 設置場所：尼崎市中小企業センター 6 階

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
成婚組数 (累計)		16 組	32 組	48 組	64 組	80 組
	11 組 (H26 年度)	13 組	24 組	36 組		

(3) 地域や企業と一体となった子育て支援

○ 森の子育てひろば事業 (5,500 千円)

都市部に暮らす未就学児の親子が自然の中でのびのび子育てができる機会を提供  
 ・森を活用した遊び、植樹、環境学習、水遊び場への園路等の整備

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
参加(交流) 親子数 (累計)	30 組 (H27 年度)	30 組	70 組	110 組	190 組	440 組
		30 組	94 組	184 組		

○ 青少年健全育成活動の実施

青少年が豊かな感性を育み、たくましく成長することをめざし、親子の交流や自然とのふれあいの中で、多様な体験ができる活動の機会を提供

- ・親子ふれあい いきいきわくわく野球観戦
- ・小学生のスナッグゴルフ大会
- ・親子ふれあい いきいきわくわくバスケットボール観戦

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
参加者数 (累計)	417 人 (H26 年度)	650 人	1,300 人	1,950 人	2,600 人	3,250 人
		490 人	987 人	2,023 人	2,758 人	

○ 青少年文化体験教室の実施 (780 千円)

小・中学生とその家族に芸術鑑賞を行う機会を提供

- ・施設：県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)、県立芸術文化センター
- ・内容：演劇鑑賞・音楽鑑賞 (計 2 回)
- ・参加者：小・中学生の親子 500 人

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
参加者数	—	—	550 人	700 人	500 人	500 人
	—	—	402 人	634 人	410 人	

※平成 28、29 年度は、「青少年スポーツ文化体験教室」を実施。

## イ) 安全・安心で住みやすい地域をつくる

近い将来の発生が懸念される南海トラフ巨大地震などの自然災害から住民の安全を守るため、防災・減災対策に取り組むとともに、ひたたくり防止などの防犯対策や自転車の安全対策の実施、地域の担い手の確保、ふるさと意識の涵養、文化・スポーツの振興などにより、日本一安全・安心で住みやすい地域をつくる。

### 【総括 KPI】

- ・東京都への転出超過数：H32：668 人半減〔H26：1,336 人〕（H29：1,120 人）
- ・住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合：H32：90%以上〔H26：76%〕  
（H30：79.4%）
- ・災害の備えが確かなものと思う人の割合：H32：50%以上〔H27：31.8%〕（H30：39.4%）

### 【主な事業】

#### (1) 防災・減災対策の充実

##### ○ 阪神南縣市合同防災訓練（200 千円）

南海トラフ地震発災時の初動体制を強化するため、災害対策地方本部の設置運営や、管内 3 市との情報伝達等の訓練を実施

- ・実施時期：10 月中下旬 ほか
- ・訓練内容：情報伝達訓練（災害対策地方本部の設置運営、フェニックス防災システムを活用した管内 3 市との情報伝達）及び管内 3 市の防災訓練への参加  
（上段：目標、下段：実績）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
参加市町数	—	—	3 市	3 市	3 市	3 市
	—	1 市	3 市	3 市	3 市	

##### ○ ニロック防災展示室の特別公開（1,250 千円）

親子や一般団体等の防災意識高揚を図るため、夏休期間中の土日祝に NPO 法人ひょうご地域防災サポート隊による解説を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
参加人数	272 人 (H26 年度)	300 人/年	300 人/年	400 人/年	400 人/年	400 人/年
		285 人/年	447 人/年	422 人/年	175 人/年	

##### ○ 防災・減災学習会、出前講座の開催

防災・減災に対する知識を養うため、自治会、企業等からの要請を受けて開催

これまで武庫川沿川の自治会を中心に実施してきたが、小学校等を対象に拡大するほか、地すべり資料館の団体利用等の機会に土砂災害対策の取組を PR

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
参加人数	1,088 人 (H26 年度)	1,000 人/年	1,000 人/年	1,000 人/年	1,000 人/年	1,000 人/年
		1,508 人/年	860 人/年	488 人/年		

## (2) 防犯対策の強化

### ○ ひったくり・特殊詐欺防止キャンペーン事業（800 千円）

ひったくり・特殊詐欺防止を啓発するため、管内市、警察署、防犯協会等と連携したキャンペーンを実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
実施回数	12 回 (H26 年度)	12 回/年	20 回/年	20 回/年	20 回/年	20 回/年
		16 回/年	15 回/年	11 回/年		

## (3) 自転車安全対策の充実

### ○ 子育て世代対象の体験型交通安全イベントの開催（920 千円）

受講機会の乏しい子育て親世代の理解促進のため、親子で楽しみながら交通ルールを学ぶイベントを実施

- ・開催時期：2019(平成 31)年 7 月 24 日(水)
- ・参加者：親子（未就学児等と保護者）
- ・内容：交通安全教室(寸劇、クイズ等)、白バイ展示・記念撮影 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
自転車関係 事故件数	1,792 件 (H26 年度)	1,612 件/年	1,432 件/年	1,252 件/年	1,072 件/年	900 件/年
		1,616 件/年	1,491 件/年	1,494 件/年	1,513 件/年	

※ 事業は平成 28 年度から実施しており、28 年度は高校生を対象、29 年度から親子を対象としている。

### ○ 自転車運転マナーアップキャンペーン（800 千円）

交通マナーの向上を図り、自転車関係事故を減らすため、管内の市、警察署、交通安全協会等と連携したキャンペーンを実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
実施回数	12 回 (H26 年度)	12 回/年	24 回/年	24 回/年	24 回/年	24 回/年
		23 回/年	27 回/年	24 回/年		

### ○ 歩道への注意喚起看板等の設置（5,000 千円）

歩行者と自転車との事故を回避するため、自転車利用者へ注意喚起を促す看板等を設置

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
設置路線 延長 (累計)	—	—	6km	12km	18km	24km
	—	—	4.1km	12.5km		

(4) 快適な生活環境づくり

○ 尼崎運河水質浄化プロジェクト (1,500 千円)

尼崎運河の水質浄化施設・チャンネルベースにおいて、市民団体等が自主的に取り組む活動を支援するとともに、徳島大学と共同で水質浄化の研究を実施

- ・ 運河博覧会、オープンチャンネルデイ、徳島大学との共同研究

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
チャンネルベース(水 質浄化施設) 利用者数 (累計)		2,000 人	4,500 人	7,000 人	9,500 人	12,000 人
	2,551 人 (H26 年度)	2,397 人	4,815 人	7,928 人		

(5) 地域活動の担い手の確保

○ 阪神南地域ビジョンの推進 (2,228 千円)

「阪神市民文化社会ビジョン」の実現を目指し、阪神南地域ビジョン委員会が地域活動団体等と連携して取り組む多彩な実践活動を支援

- ・ 委員の委嘱：2018(平成30)年4月～2020年3月の2年間
- ・ 活動拠点：「ビジョン交流プラザ」を提供
- ・ 経費補助：グループ活動・広報活動への経費補助
- ・ 夢会議開催：ビジョン委員会と阪神南県民センターの共催により、地域住民と地域の夢や課題を語り合う会議を開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
一般参加型イ ベント実施回数		15 回/年	20 回/年	22 回/年	20 回/年	25 回/年
	17 回 (H26 年度)	20 回/年	20 回/年	26 回/年		

○ こころ豊かな人づくり500人委員育成事業

“こころ豊かな美しい兵庫”の実現に向けて、次代を担う青少年の育成活動の担い手を養成

- ・ 受講期間：2年間(2019(平成31)年～2020年)
- ・ 内容：講演、セミナー、フィールドワーク等
- ・ 委員数：19人(平成30年12月31日現在)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
修了者数 (累計)		—	10 人	—	15 人	—
	3 人 (H26 年度)	—	5 人	5 人		

○ 大学生による地域づくり活動への支援（2,500千円）

大学生の若い感性を生かした地域活性化を図るため、大学生が地域団体や事業者と連携して実施する地域づくり活動を支援

・活動助成

◇支援対象：学生と地域団体、事業者等との連携による地域活性化事業

◇実施主体：阪神地域の大学・短期大学のゼミ、研究室、大学生による地域づくり活動を実施するNPO等

・阪神つながり交流祭の開催

活動事例・成果の発表や活動団体間の情報交換などを行う阪神つながり交流祭を開催

◇開催時期：2019(平成31)年12月 ◇開催場所：管内大学施設

◇参加者：活動団体(助成対象以外も含む)、地域団体、事業者、行政関係者等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
活動助成 団体数		4団体/年	4団体/年	4団体/年	4団体/年	4団体/年
	4団体 (H26年度)	4団体/年	5団体/年	5団体/年	6団体/年	

(6) ふるさと意識の涵養

○ 尼崎の森ファミリークラブ

森づくり活動をこどもの成長とともに家族で体験することにより、森への愛着や家族愛、ふるさと意識を醸成するとともに、森づくりの担い手を育成

・対象：小学生から中学生までの子どもとその家族

・内容：小学生入学時に森づくり作業を行う家族として登録

子どもの成長の節目に合わせた森づくり作業の体験、特別イベントへの招待  
全工程参加者に活動記録集を贈呈

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
登録家庭数 (累計)		—	30組	70組	110組	150組
	—	—	27組	62組	101組	

○ 阪神南ふるさとづくり応援事業（5,100千円）

地域が抱える課題解決や地域活性化に向けて地域団体に取り組む事業を支援することで、県民主体によるふるさとづくりの拡がりを推進

・対象団体：阪神南地域を活動基盤とする地域団体等

・対象事業：地域課題の解決に向けた取組、地域の活性化に向けた取組、コーディネーターを活用してコミュニティを再生・活性化する取組

・助成内容：助成件数 22件程度

助成金額 上限20万円/件

(地域コミュニティ再生・活性化事業は上限50万円/件)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
補助件数		20件/年	20件/年	15件/年	15件/年	22件/年
	4件 (H27年度)	4件/年	15件/年	13件/年		

※ 平成 27、28 年度は、「提案型ふるさとづくり協働事業」を実施

## (7) 文化・スポーツの振興

### ○ 阪神南ふれあいスポーツフェスタの開催 (3,000 千円)

スポーツと健康づくりの拠点「尼崎の森中央緑地」等で、幅広い世代が交流するスポーツイベントを実施

また、尼崎スポーツの森が「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」の会場となっていることから、世代別のプログラムや、大会競技のエキシビジョンマッチ等により機運醸成を図る。

・時期：2019(平成31)年6月～10月頃

・内容：尼崎会場（尼崎スポーツの森）

（世代別プログラム）尼崎スポーツの森CUP水泳大会、10kmロードレース、フットサル大会 等

（WMG2021関西PR）トップアスリートによるアーティスティックスイミングのデモンストレーション・クリニック、水球エキシビジョンマッチ

（その他）アイススケート無料開放 等

西宮会場（県立総合体育館）

ダンス発表、アトラクションコーナー 等

芦屋会場（県立海洋体育館）

ヨット体験・カヌースクール 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
参加者数		—	10,000人	3,000人	8,000人	8,000人
	—	—	15,375人	7,894人	8,364人	

※ 平成 28 年度は、尼崎会場で花火大会を併せて実施

### ○ 阪神南魅力発信事業—美術館・博物館 無料開放の日— (3,661 千円) 【新規】

美術館・博物館が同時期に一斉に無料開放することにより、気軽に文化資源に接する機会を提供し、阪神南地域を訪れる交流人口を増加

・実施日：2019(平成31)年10月の第1土・日曜日を中心として、各施設が定める日

・対象施設：阪神南地域の美術館、博物館等

・内容：大人も子どもも入館料を無料（一部特別展等を除く）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
来館者数の 増加率		—	4%	4%	4%	4%
	—	—	45.2%	▲6.4%		

※ 平成 28 年度から 30 年度まで、管内の博物館・美術館が連携して阪神南ゆかりの共通テーマで展覧会を行う「阪神南リレーミュージアム」を実施。

ウ) 新たな成長を生み出す産業力・技術力を高める

全国有数のものづくり産業の集積地としての強みを生かし、イノベーションの促進と雇用の創出を図るため、企業のネットワークを生かした付加価値の高いものづくり産業の発展を促すとともに、新たな起業による担い手の増加や中小企業の新事業展開、まちなか再生に向けた商店街の活性化を図る。

【総括 KPI】

- ・市町内総生産（実質）：3兆3,846億円（10%以上増加）（H30）〔H25：3兆769億円〕  
（H27：3兆1,388億円）

（実質市町内総生産は連鎖価格方式（H23 暦年基準）により算定）

- ・開業率：3.3%（H18～21 期並に増加）（H29～32 期）〔H21～24 期：2.4%〕  
（H26～28 期：5.7%）

【主な事業】

(1) 起業しやすい環境づくり

○ 若者向け創業セミナーの開催（3,450 千円）

中高年に比べて低調な若者世代の創業を促進するため、市の創業支援窓口と連携して、大学生など若者を対象に、創業に関するセミナーを開催

- ・キックオフステージ(初心者向け)

◇対象者：県内在住又は県内大学在籍若しくは阪神間での創業を考える10～20代の若者で関心のある初心者

◇内容：起業家の体験談と参加者との交流会

◇開催場所：尼崎市内

- ・ステップアップステージ(創業志望者向け)

◇対象者：県内在住又は県内大学在籍若しくは阪神間での創業を本格的に考える10～20代の若者で創業志望者

◇内容：起業家との意見交換会、経営等に関する知識取得及びビジネスプランの作成

◇開催場所：尼崎市内

- ・ブラッシュアップステージ

◇対象者：主に阪神南地域で創業を目指す者や創業間もない者

◇内容：起業家との個別相談会

◇開催場所：尼崎市内または起業家の指定する場所

（上段：目標、下段：実績）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
セミナー等の 若者の参加者 数	—	—	60 人/年	60 人/年	76 人/年	76 人/年
	—	—	56 人/年	41 人/年		



(2) 新事業展開への支援

○ 阪神南リーディングテクノロジー実用化支援事業 (5,911 千円)

優れたものづくり中小企業の中から、先端的なテクノロジーを発掘・選定し、実用化に向けて支援

・実用化研究支援

(一財)近畿高エネルギー加工技術研究所(AMPI)と阪神南リーディングテクノロジー(LT)企業間の連携による新たな技術開発・製品実用化を支援 (H19～30:計111社)

◇助成金額:上限30万円/件

・企業連携フィジビリティスタディ支援

企業連携による製品化・事業化の実現可能性調査を支援

◇助成金額:上限30万円/件

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
LT新規発掘・ 認定企業数		13社/年	13社/年	15社/年	15社/年	15社/年
	13社 (H26年度)	12社/年	13社/年	13社/年		

○ 産業フェア等への出展支援 (4,500 千円)

管内ものづくり中小企業の販路開拓を支援するため、阪神南LT実用化支援事業の認定企業等を対象に、産業フェア等への出展を支援

・国際フロンティア産業メッセへの共同出展

・県外の大規模展示会へ出展支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
出展支援 企業数		19社/年	19社/年	19社/年	19社/年	19社/年
	19社 (H26年度)	19社/年	22社/年	20社/年	19社/年	

(3) 商店街の活性化

○ 大学生による商店街活性化への支援(500千円)

大学生の若い感性を生かした商店街の活性化を図るため、大学生が商店街と連携して実施する活動を支援

◇支援対象:学生と商店街等との連携による商店街活性化事業

◇実施主体:阪神地域の大学・短期大学のゼミ、研究室、大学生による地域づくり活動を実施するNPO等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
活動助成 団体数		—	2団体/年	2団体/年	2団体/年	2団体/年
	—	—	3団体/年	2団体/年	2団体/年	

#### (4) にぎわいの創出

##### ○ コミュニティサイクルの導入検討（1,000 千円）

尼崎市の南北交通の利便性向上や尼崎の森中央緑地へのアクセス向上を図るため、観光やビジネス等で利用できるコミュニティサイクルの導入に向けた実証実験を、尼崎市と共同で実施

- ・実施時期：2018年(平成30年)12月～2020年3月
- ・設置場所：阪神武庫川駅、阪急武庫之荘駅、JR立花駅、尼崎の森中央緑地等  
12箇所(順次増設の予定)
- ・運営事業者：(株)阪神ステーションネット・シネサイクル(株)・OpenStreet(株)共同事業体
- ・利用料金：60円/15分

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用率	—	—	—	40%	60%	60%

##### ○ サイクルイベントの開催（自転車まちづくりプロジェクト）（1,000 千円）

平たんな都市部という地勢を生かし、自転車の持つ特長（環境負荷が少、健康増進に寄与等）を最大限に生かしたまちづくりの一環として、尼崎の森中央緑地を起終点とするサイクルイベントを開催

- ・実施時期：2019(平成31)年11月頃
- ・開催内容：サイクルロゲイニング等

(尼崎城をはじめ尼崎市内の登録文化財や阪神なぎさ回廊周辺の文化施設等をチェックポイントに設定)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
イベント参加者数	—	—	—	100人 33人	100人 32人	100人

##### ○ 「あにあん倶楽部」による魅力発信（8,985 千円）

地域情報総合ポータルサイト「あにあん倶楽部」の運営やフォトコンテスト等のイベントを行うことにより、阪神南地域の魅力を発信

- ・あにあん倶楽部の運営
- ・SNSを活用した情報発信
- ・あにあんフォトコンテストの開催
- ・スペシャリストと巡る 阪神南ぐるっとツアー【新規】

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
「あにあん倶楽部」会員数 (累計)	—	2,200人 2,185人	2,700人 3,227人	3,200人 4,583人	5,000人	5,500人